

## 平成24年度 第1回 倫理審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：

平成24年 4月24日（火） 16:55～17:20

開催場所：

独立行政法人国立病院機構菊池病院 会議室

出席委員名：

桂木正一、木村武実、末松直幸、野口利幸、内村美子、松崎博充、益田博文

審議事項：

申請番号 2401

【課題名】 精神疾患の脳形態と認知機能に関する研究  
－脳画像と認知機能検査による検討－

【申請者】 坂西 信彦（菊池病院 診療部長）

【研究の概要】 かつて統合失調症は気脳写や頭部CTにより両側側脳室や第3脳室の拡大が指摘されていた。近年頭部MRIでも両側前頭葉・側頭葉の萎縮、両側側脳室の拡大、両側海馬領域の萎縮などが報告されている。また元来言われてきた幻覚・妄想などの陽性症状や感情鈍磨・意欲減退などの陰性症状のみならず記憶障害・注意障害・実行遂行能力障害などの認知機能障害があると近年言われている。今回、頭部MRI（必要に応じて頭部CT、SPECT）で精神疾患の脳形態と認知機能を調査する。

【判定】 条件付承認

申請番号 2402

【課題名】 4施設共同研究によるクロザピンの有効性と臨床実践の報告

【申請者】 久我 政利（菊池病院 精神科医師）

【研究の概要】 クロザピンの臨床使用が可能となり治療抵抗性統合失調症の治療に

画期的な進歩をもたらしたが、3年を経ていまだ使用条件を整えた施設は少ないのが現状である。今回、比較的多くの症例を経験する4施設共同研究でクロザピン症例を集積し、クロザピンの有効性のデータ分析、クロザピン使用の臨床実感、副作用とその対策、入院及び外来の治療体制、クロザピン投与時の各施設の様々な取組等を調査し、治療抵抗性統合失調症におけるクロザピンの臨床使用における効果と課題を明らかにすることを目的とする。

【判定】承認